



ているのは東京・浅草の鷲神社、新宿の花園神社、目黒の大鳥神社で、どの神社にも日本武尊が祭られていることがそのルーツを表しています。

地域によってまちまちですが、浅草の酉の市が開くのは前日の深夜0時から当日の深夜0時までの二十四時間。熊手を買うと、熊手屋さん  
の威勢のいい掛け声とともにシャンシャンと手  
締めが響きます。

熊手は物をかき寄せる、つかむ道具であるこ  
とから福をよびよせるえんぎもの。小さな熊手  
守りから大きな熊手まで種類はさまざまです。  
熊手は買いはじめたら毎年大きくしていくのが  
いい買いかたとされているから、はじめから大  
きなものを買わないことがコツです。



にほんを歩く、行事に出かける

## 酉とりの市

酉の市が開かれるのは毎年十一月。商売繁盛、開運の縁起もの「熊手」がにぎやかに販売されます。

酉の市の起源は約六百年ほど前。日本武尊の命日に感謝の祭りが行われるようになったことが由来だとか。日本書紀によると日本武尊が病で亡くなった後、白鳥になって天にのぼったことから、「鳥明神」になったしるとされています。

酉の市が開かれる中でも人出が多いといわれ